

今日、胃食道逆流症(GERD)の概念が普及し、その病態および治療が討議されるようになった。逆流性食道炎はGERDの一現象をとらえた分野であるが、客観的に検討できる病態であり、過去に2回(18巻11号、27巻9号)本誌で取り上げられてきた。その後、分類に関しては、ロサンゼルス分類、日本食道疾患研究会分類が策定された。治療に関しては、PPIの普及、内視鏡下手術による治療成績の蓄積が得られている。一方、HP除菌による逆流性食道炎の発生に新たな問題点も報告されるようになった。以上のことを踏まえ、時代的進歩を図ってきた本症の最近10年の変化・問題点を中心に、第一線で活躍中の経験豊富な専門家に再び考察していただいた。

序説で神津が述べているように、いま再び逆流性食道炎が主題に取り上げられた理由は、①欧米と同じようにわが国でも今後増加傾向にあるの

か、②どのような症例・病態が内科的および外科的治療に奏功を示すのか、③その病態は胃の運動面からみるのか、食道を重視した立場からみるのか、などの結論に迫れるか、という点である。本症の時代的変遷は確かに認められるが、地域、民族、年代、性別によって差異を認めることが明らかになった。しかし、その病態についてはいまだ不明な点が多いと言わざるを得ない。治療法についてはPPIの登場で大きく前進した。予後も楽観的になったと言える。最近、わが国のGERD研究会では、欧米で生まれ、日常診療で使用され始めている“QUEST問診票”の日本語版を試作し、逆流性食道炎の診断をスコア化(4点以上)する試みもあるが、これも未完成である。本号の多くの情報が、より客観的で簡便な本症診断法の確立およびその診療に大いに役に立つことを期待したい。

胃と腸

8月号(第34巻・第9号)予告

発売予定 8月25日
定 価 (本体2,100円+税)

主題／早期胃癌のEUS診断

序 説	千葉大・光学医療診療部	神 津 照 雄
主 題	EUSからみた早期胃癌の深達度分類	
	—UI(+)病変を中心に	JR 仙台病院・消化器内視鏡センター 望月 福治・他
	潰瘍の有無からみた早期胃癌のEUS診断	北里大東病院・消化器内科 木田 光広・他
	潰瘍の有無からみた早期胃癌のEUS診断	
	—X線・内視鏡診断学との比較を含めて	愛知県がんセンター・消化器内科部 中村 常哉・他
	早期胃癌のEUS診断—機種による差はあるのか	京都第二赤・消化器科 安田健治朗・他
	細径プローブによる早期胃癌のEUS診断	山口大・1内科 柳井 秀雄・他
読影講座	このEUS画像をどう読むか	藤田保衛大第二病院・内科 芳野 純治・他
症例からみた読影と診断の基礎	[Case 47]	JR 仙台病院・消化器内視鏡センター 小沢 俊文・他

胃 と 腸 (第34巻 第8号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocoyo@igaku-shoin.co.jp

1999年7月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,100円+税)(配送料124円)

1999年年々ぎめ予約購読料29,890円

(増刊号4,600円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1999, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)小長谷・天野・小松原・向山